

比残留日系人・本田さん

亡き父の墓参り

甲佐町

父親が甲佐町出身と判明し、日本財団などの支援で7日に来熊したフィリピン残留日系人の本田ダビッドさん(67)が8日、同町を訪ね、父寅雄さんの墓参りをした。ダビッドさんは墓前に線香を手向け、亡き父に「いつか天国で再会したい」と語りかけた。

ダビッドさんは、寅雄さんが好きだったビールを墓石に掛け、静かな声で長く語りかけた。生まれる前に離れたとなり、面影を探し続けた父。その墓前に初めて立ったダビッドさんは「夢がかなった。今日ここにきて、自分はフィリピン人であり日本人であると感じた」と話した。

ダビッドさんと妻ネナさん(56)は同日、甲佐町に住む異母弟の本田孝明さん(64)方で営まれた法要に出席したほか、同町内にある寅雄さんの生家も訪問した。孝明さんの妻美恵さん(62)によると、寅雄さんは生前、フィリピンに残した家族に向けてクリスマスカードを毎年書いていたという。カードは結局投函されなかったが、「いつも気に掛けていました」と美恵さん。親族から「これからも交流を」と声を掛けられたダビッドさんは「次回は、娘に勉強させて日本語が話せるようにしてから来ます」とほほ笑んだ。ダビッドさん夫妻は10日に熊原する。(楠本佳奈子)



父親の墓にお参りをする本田ダビッドさん(左)。右は異母弟の本田孝明さん。右下は孝明さんの妻・美恵さん = 8日、甲佐町中横田(穀本純二)